

令和５年度の主な事業報告

社会福祉法人王寺町社会福祉協議会

社会福祉事業

令和５年度事業計画に基づき、それぞれの重点目標に従って、住民・福祉関係者・行政機関の合意形成・調整の場をつくり、地域のさまざまな課題や住民のニーズに対応したまちづくりに取り組んできました。また、住民、関係機関等が連携、協働し、誰もが安全に、安心して暮らすことのできる地域福祉を実現させるため、「第２期王寺町地域福祉計画・地域福祉活動計画」をもとに、地域福祉の実現に取り組んできました。

１．サロン活動の推進

令和５年度は新規サロンの開設に向けて後方支援を行うとともに、サロン活動が再開・運営を実施できるように代表者会議を実施した。また、各サロンを訪問し状況を把握するとともにサロンについて運営者と問題点など話し合い運営支援を行いました。

〔サロン実施ヶ所数：１８ヶ所〕

２．ボランティア活動の推進拡大

近年の線状降水帯による水害や年始の能登半島地震等、自然災害に備えた災害ボランティア入門講座を実施し１８人が受講されました。

更に、ボランティアを受け入れるための、王寺町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを策定しました。

また、手話奉仕員養成講座「入門編」を開催し、１５人の受講者が参加し、１２人が修了されました。更に、生活支援ボランティア養成講座

を開催し6人が受講され、町内で活躍されているボランティア団体の紹介等も交え、積極的なボランティア活動への参加につながる様、呼びかけを行うと共に、自分たちの住んでいる地域を明るく、住みよくするためにどうしたらよいのかを考え、学び、共に生きる社会をつくるために、社会福祉協議会では地域のボランティア活動を推進していくための支援を行いました。

○ボランティア保険

- | | | |
|-------------------|-----|-------|
| ・ ボランティア活動保険加入事務 | 12件 | 56人 |
| ・ ボランティア行事用保険加入事務 | 12件 | 1379人 |

3. 高齢化社会への対応の強化

- (1) 高齢者の健康保持増進、生きがい、仲間づくりの意識の高揚を図るため、グラウンドゴルフ大会(6/29・76人)(10/19・64人)を開催し、延べ140人が参加、身体や頭をフルに使い、心身ともにリフレッシュされ、健康の保持増進を図られました。

生きがいと仲間づくりとして実施されているクラブ活動においては、老人福祉センターで8クラス、老人憩の家「片岡の家」で16クラス、合計24クラブの方々が音楽・体操・踊り等により充実した時間を過ごされました。

- (2) 見守りの頻度が少ない独居、かつ介護保険サービス等の公的サービスを使用していない方を対象に、介護福祉士資格のある社協職員が、地域住民や民生児童委員からの協力により、生活状況の聞き取り・確認を行い、関係機関との連携による包括的な支援の輪により、適切なサービスへとつないでいます。

〔R5年度：実人数 200人・訪問回数716回・電話 106回〕

〔R4年度：実人数 211人・訪問回数 603回・電話 123回〕

また、文化福祉センターで、介護予防についての相談会を開催しました。

〔R 5 年度：年 6 回 1 件（電話相談を含まず）〕

※ 相談日以外にも 29 件の相談に対応しました。

〔R 4 年度：年 6 回 4 件（電話相談を含む）〕

- (3) 春、のどかな集い（一人暮らし高齢者の集い）を地域交流センターリーベルホールで 3 月 28 日、4 年ぶりに開催し、263 人の方々が参加され、民生児童委員の協力により、昼食とカラオケで楽しいひとときを過ごされました。

4. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）の推進

高齢者や障害により判断能力が低下し、生活に不安がある方に対し、相談援助や福祉サービス利用支援・金銭管理・書類の預かりサービス等を行い、地域で安心して生活できるよう支援しました。

〔R 5 年度：相談件数 7 件・利用者 1 人〕

〔R 4 年度：相談件数 1 件・利用者 2 人〕

5. 共同募金委員会活動の推進

(1) 共同募金運動

地域及び在宅福祉の強化を目的に、10 月 1 日から全国一斉に実施され、王寺町でも自治連合会、民生児童委員協議会等、各種団体の協力を得て街頭募金、戸別募金により募金活動を展開し、多くの方々から善意ある寄附をいただきました。

令和 5 年度

募金総額 1, 142, 673 円

配分金 533, 673 円 (R 6 受入)

(2) 歳末たすけあい募金運動

自治連合会、民生児童委員協議会、老人クラブ連合会をはじめ各種団体の協力により街頭募金活動等を展開し、多くの方々の温かい善意が寄せられ、準要保護家庭のお子さんやひとり暮らし高齢者へ歳末訪問金・見舞品として配付いたしました。

＝令和５年度 歳末たすけあい募金 活動実績＝

◎募金総額 382,043円

内訳 街頭募金 5,317円

各種団体等 342,464円

福祉祭り・カレンダーバザー 34,262円

◎歳末たすけあい事業 865,055円

準要保護家庭歳末訪問金（103世帯、子ども226人）

678,000円

ひとり暮らし高齢者歳末お見舞い（カイロ950セット）

187,055円

6. 広報活動の強化による会員の増強

社会福祉協議会が、地域における福祉活動の中核となり安定して福祉活動を推進できる財政基盤を強化するため、関係法人に特別会員として社会福祉活動に参加していただくようお願いし、また、自治会を通じ、賛助会員の加入・会費納入の協力について呼びかけを行いました。

正会員 21人（理事・監事、評議員）

特別会員 王寺町商工会、農協西やまと支店、
特別養護老人ホームてんとう虫

賛助会員 各自治会

会費収入 1,123,200円

7. 生活困窮者相談

(1) 生活福祉資金

低所得世帯を対象とした教育支援資金、失業による生活困窮世帯に対し、再就職までの間の自立を支援する福祉資金等、各種生活福祉資金の相談や申込み等の業務を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により生活費が減少した方に対し、相談支援を実施しました。

＝相談・貸付件数＝

		相談件数	貸付件数
緊急小口資金（特例）			（16件）
総合支援資金 （特例）	初回貸付	（54件）	（17件）
	延長貸付		（1件）
	再貸付		（1件）
福祉資金	福祉費	0件 （5件）	0件 （3件）
	緊急小口資金	14件 （7件）	4件 （2件）
教育支援資金		1件 （1件）	1件 （1件）
不動産担保型生活資金		0件 （0件）	0件 （0件）

※（）内はR4年度実績

（特例）はコロナ特例で、令和4年9月末で終了

(2) やわらぎ金庫資金の貸付・フードレスキュー

緊急・臨時的に生活資金を必要とする低所得世帯に対して、その自立を支援することを目的に、独自の貸付を行いました。また緊急の食糧支援を必要とされている方にはフードレスキュー事業を行いました。

	相談件数	実施件数
やわらぎ金庫資金	1 件 (3 件)	1 件 (3 件)
フードレスキュー対応件数	6 件 (1 1 件)	6 件 (1 1 件)

※ () 内はR 4 年度実績

8. 物品貸出し業務

車椅子を要介護者の外出や学生への福祉教育等の用途で貸し出しています。また、綿菓子機・ポップコーン機・みたらし団子機・鉄板台等は、自治会・子ども会などの催し時に幅広く活用いただいています。

貸出品	綿菓子機	ポップコーン機	輪投げ	みたらし団子機 たこ焼き機
件 数	1 7 (2)	1 5 (1)	1 0 (5)	4 (0)
貸出品	氷かき機	鉄 板 台	車椅子	合計
件 数	6 (1)	7 (0)	4 2 (3 1)	1 0 1 (4 0)

※ () 内は、令和 4 年度分

9. 心配ごと相談所の開設

別添「令和 5 年度 王寺町心配ごと相談所 事業結果」を参照

10. その他

(1) 老人福祉センター等管理・運営

老人福祉センター・老人憩の家「片岡の家」は、多くの高齢者の方々の憩いの場として、気軽に楽しく安心してご利用いただける地域福祉推進の拠点として、適正な運営に努めています。

＝令和5年度 老人福祉センター等利用状況＝ (人)

	個人利用者	団体利用者	計
老人福祉センター	6, 0 2 1 (5, 6 9 6)	1, 6 1 6 (6 9 6)	7, 6 3 7 (6, 3 9 2)
老人憩の家「片岡の家」	5, 1 5 1 (3, 4 3 2)	1, 8 4 6 (1, 7 7 4)	6, 9 9 7 (5, 2 0 6)

※ () 内はR4年度利用者数

(2) 「我が事・丸ごと」の地域づくり

国庫補助事業である「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業を王寺町社会福祉協議会が受託、サロン等の集う場を中心に多様な相談を「丸ごと」受け止め適切な解決法につなぐ相談体制づくりや、他人事になりがちな地域の困りごと解決を「我が事」として地域住民が主体的に取り組む意識づくりを行っています。

(3) 苦情受付処理に関すること

・苦情受付体制 受付担当者 1名 解決責任者 1名 第三者委員 3名

・苦情受付件数 0件

公益事業	なし
------	----

収益事業	なし
------	----